



ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

URL/<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

VOL.13



土会長の挨拶



東京大学を昭和26(1951)年に卒業し、静岡大学へ奉職してから41年の間、富士山は研究室の窓からいつも眺めることができた。この間、たびたび出かけた南米の学術調査で、日本から移住した人達がアンデス山脈に円錐形の火山を見つけてはペルー富士、チリ富士と呼んで、こんなにも故国を懐かしく思っているのかと心を打たれたことは今でも心に残っている。それでも、私の研究は火山ではなく平野や丘陵の地層が主だったので、富士山は少し離れた存在であった。

ところが、昭和60(1985)年、楽寿園小浜池についての三島市の依頼もあって富士山の湧水の研究を初めて手がけることになった。そこで、富士山を上から下まで歩きめぐり、ときには大島三原山の溶岩流や三宅島の噴火した姿を調べに行き、富士山の雪が融けて地下にしみ込み、溶岩の間から押し出されるように裾野の末端で湧き水となって湧き出すことが、何とかわかるようになるまで、10年以上もたってしまった。それでもまだ、しなければならないことは山のようにある毎日である。でも、今日の富士山の雪の融け具合、今年の雨の降り方、あそこの湧き水の出方等々、富士山がいつもこんなに身近に、そして大切に感じられるようになったのは初めてといてよい。

やはり、富士山は眺めているだけでも、いつも美しい親しみは持てるが、富士山のために何か自分でやってみると、こんなにも富士山が身近になるのかと思うこの頃である。今年も皆さんと共に、富士山のために何か一つでもいいからやってみようと思っている。

富士山憲章(行動規範)

- 1.富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1.富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1.富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1.富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1.富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次

Contents

特集 ” 私たちが富士山のためにできること”

- 富士山憲章シンポジウム
- 富士山環境行動の呼び掛け

トピックス ” 富士山への会員からのメッセージ”

- 富士山へのメッセージ

活動報告 ” 富士山みがきあげ作戦

～私たちの手でみがきあげよう富士山 日本一きれいな山～

- 富士山の環境保全への取り組み

事務局通信

- ふじさんネットワーク活動紹介
- 事務局からのお知らせ
- 富士山エコレンジャー研修＝富士山勉強会＝に参加しませんか？



特集

私たちが富士山のためにできること。

富士山の環境保全を推進するため、平成15年11月19～20日の2日間、ふじさんネットワーク会員をはじめとする延べ約1,000人の参加のもと、富士宮市民文化会館にて、静岡県等主催、「ふじさんネットワーク」共催で、「あなたは富士山のために何ができますか／富士山憲章制定5周年記念フォーラム」が開催されました。(11/19 第5回全国山岳トレシンポジウム・11/20 富士山憲章シンポジウム)

フォーラムの様子や全国へ向けて発信された「富士山環境行動の呼び掛け」等を紹介します。

○ あなたは富士山のために何ができますか

富士山憲章シンポジウム (11/20開催)

富士山憲章制定から5年間の歩みを振り返り、成果を確認するとともに、今後の課題を明らかにした上で、憲章制定10周年に向け、富士山環境行動の合意形成と全国に向け活動への参加と支援を呼び掛けました。

◇ 第1部:大討論「ゴミ・水・森・観光」

「ゴミ対策～五合目以上の課題と裾野からの磨き上げ～」「富士山の水・湧水の保全と活用」「森づくり～100年プロジェクト3776構想～」「観光における環境保全」の4つの分科会に分かれ、富士山の現状や課題を明らかにし、今後私たちが取り組むべき環境行動の呼び掛けを討論しました。

「富士山環境行動の呼び掛け」は、ふじさんネットワークの会員有志などが、事前に討論しながら、富士山憲章シンポジウムに提案する原案づくりを行いました。

環境行動の呼び掛け

～富士山の水・湧水の保全と活用分科会から抜粋～

- 家庭
 - ・家庭内の節水や、雨水の利用、地下への浸透などに取り組みましょう。
- 地域(住民・地元組織)
 - ・地域の湧水保全活動に取り組みましょう。
- 事業者
 - ・水の再利用などによる節水に取り組みましょう。
- 環境保全団体・学識者
 - ・湧水の調査、地下水・湧水に関する情報提供、美化活動、湧水保全のための啓発活動などに積極的に取り組みましょう。
- 行政
 - ・国民、県民への富士山の水に関する情報提供と環境教育などの活動支援を行いましょ。

～‘森づくり～100年プロジェクト3776構想’分科会から抜粋～

- 国民・企業
 - ・森づくり活動に積極的に参加しましょ。
- 森林所有者
 - ・積極的な森林整備を推進しましょ。
- 環境保全団体・学識経験者
 - ・富士山麓での自然林復元活動を企画し指導・普及しましょ。
- 行政
 - ・国民・企業・学校等の森づくり活動の支援・PRを図りましょ。

各分科会の様子

◇「ゴミ・水・森・観光」分科会の討論概要

「ゴミ対策分科会」

- ・ 富士山麓のゴミ対策への取り組みの紹介や、屋久島の事例紹介、地域別（山頂、五合目以下、山麓）に問題を整理して対応策を検討する必要があること、ゴミの発生を抑制する仕組みの必要性、山小屋、行政、企業、登山者が具体的努力目標を示すことなどが討論されました。



「富士山の水・湧水の保全と活用分科会」

- ・ 個人、企業、環境保全団体それぞれの立場での取り組みの紹介とともに、富士山の限られた地下水を、地域のエゴにとらわれず地下水の保全に取り組むことの大切さや、実際に活動することが大切であること、住民、企業、保全団体が一体となって節水、汚染防止などを努力していくことなどが討論されました。



「森づくり分科会」

- ・ 報告者それぞれの取り組みの紹介とともに、国有林（自然林）では、森の大切さを周知し、森づくりに多くの人に参加してもらうこと、火山荒原では、復元・保全手法について調査研究を行うこと、人工林では、地域材（間伐材）の利用を積極的に呼びかけることなどについて討論されました。



「観光における環境保全分科会」

- ・ 地域社会（観光客を受け入れる立場）、企業（富士山の恵みを使った観光産業）、メディア（情報発信の媒体、みんなを繋ぎ合わせる役割）、行政それぞれからの報告とともに、これからは観光と環境の協働・共生が必要であり、そのために、環境の質の向上、環境への「恩返し」という考え方、インタープリターの育成、顧客満足度を向上させるための取り組み、「見る人」「来る人」「登る人」それぞれへの情報発信などの必要性が討論されました。



◇第2部:「おーい!富士山」

第2部では

- ・ 全国募集をした「富士山オピニオン」の発表と表彰
- ・ 環境省自然環境局自然環境計画課 奥田直久課長補佐による講演「世界自然遺産候補地に関する検討からみた富士山の課題」
- ・ 富士宮市立富士根北小学校栗倉分校の児童による、富士山学習の成果として、野鳥をテーマとした劇「富士山の野鳥」が行われました。



◇第3部:「われらの富士山環境行動」

第1部で行われた4つの分科会からの報告を踏まえて、総括討論が行われました。アドバイザーの方から「何ができるか、何をすべきか」という意識付けが必要」、「環境行動を言葉で発信することは有効」などの意見が出された後、参加者の合意のもと富士山環境行動がまとめられ、その実行が確認されました。

シンポジウムの最後には、富士宮市立富士根北小学校栗倉分校の児童13人が1人ずつ、呼び掛けの言葉を読み上げて閉会しました。



○ 私たちが富士山のためにできること

ふじさんネットワークでは、4分科会の富士山環境行動の呼び掛けの具体化にむけ、様々な取り組みを予定しています。私たちが富士山のためにできること、あなたもその活動の輪に参加しましょう。そしてできることを着実に実行しましょう。

富士山環境行動の子供たちからの呼びかけ

- 富士山に来たら、ゴミをひとつ持ち帰りましょう。
- 富士山麓での不法投棄を発見したら、知らせましょう。
- 水の節約や湧水の保全、ゴミの清掃などできることから一つひとつ行いましょう。
- 富士山の自然環境にやさしい物づくりや利用を進めましょう。
- マナーをみんなで守るため、富士山エコレンジャーの活動の輪を広げましょう。
- 富士山のことを考え、自然を大切にして、安全で快適に富士山を楽しみましょう。
- 富士山の自然について積極的に学びましょう。
- 春や秋など、富士山の多様な自然に触れ合いましょう。
- 富士山の麓の木をたくさん使いましょう。
- 富士山の森づくりに積極的に参加しましょう。
- 地下水や湧水の保全、森づくりなどの活動をみんなに知ってもらいましょう。
- 富士山をもっと知るための調査や研究を進めましょう。

11月19日(水)には、第5回全国山岳トイレシンポジウムが開催され、

- ・ 線的、面的整備を拡大し、自治体と山小屋事業者との連携を強化すること
- ・ 維持管理の徹底のため、理論的な裏付けを伴う技術評価が必要
- ・ 利用者のマナー、ルールの問題には、実際に効果的な方法で呼び掛けを行うこと
- ・ 自己完結型トイレの法的位置付けを確立することが重要などの指摘がなされました。



トピックス

富士山へのメッセージ

○ 山本 肇 (グランシップ館長・ふじさんネットワーク副会長)

富士山に祈る

ことしの元旦、グランシップの10階展望ロビーから見た富士山の頂きは、初陽の曙光を浴びて少女の頬のように薄桃色に染まっていた。美しい。家族の幸せ、日本の幸せ、そしてイラクに派遣される自衛隊員の無事の帰還を祈った。



○ 漆畑信昭 (財柿田川みどりのトラスト会長)

富士山へ思う

世界の名山の中で、富士山ほど傷つけられた山はない。ふじさんネットワークの力を結集し、この傷を癒してあげたい。完治した時、世界遺産の登録は、自ずから決まる。



○ 仁藤 浪 (富士宮自然観察の会会長)

富士山の自然環境保全はいろいろな人がいろいろな立場から地道に活動が続けることにより少しずつ良くなってきています。しかし楽しむだけの人も多く訪れます。富士山を想う気持ちを一人ひとりが行動で現せばいつの日か求めた以上の自然で答えてくれるでしょう。

○ 桑田泰久 (富士山ナショナル・トラスト会長)

富士山の端麗な容姿が永久にそのまま保たれますように!いつまでも日本人の心の拠り所として誇れるような存在であってほしい!その為に出来る事は何でもやっ行ってこう!口よりも手を動かすボランティアになりましょう。

○ 柏木伸夫 (ふじさんネットワーク会員)

富士山の自然環境を保全するために幾つかの問題が提起されています。これらの問題点を解決するために富士山を愛する人々のパワーが必要です。その拠点になるのが「ふじさんネットワーク」で、一人でも多くの人が入会され、富士山を守りたいものです。



○ 佐々木 美行・麻利子 (ふじさんネットワーク会員)

ふじさんネットワークの活動を通し多くの人に出会い、その出会いの中から体験を通した知識をいっぱい頂きました。今後はこの知識と自らの経験を活かし、待たなし!21世紀にやらねば成らぬ環境保全活動により多くの人達と取り組んで行きたいと思えます。

活動報告

富士山みがきあげ作戦

～私たちの手でみがきあげよう富士山 日本一きれいな山～

現在、富士山のゴミ問題については、五合目以上を中心に「富士山をいつまでも美しくする会」の一斉清掃やボランティア、企業、行政等による清掃活動、富士山エコレンジャーによる来訪者のマナー指導等の成果により、大きく改善されつつあります。

ふじさんネットワークでは、こうした活動を富士山全域で一層推進していくために、地元の企業、団体等様々な人の参加を得ながら、富士山五合目以下の道路や公園等のゴミについて実態を調べ、どうすればゴミをなくせるのかを考えることにより、富士山を裾野からみがきあげ、日本一きれいな山を目指す活動に取り組んでいます。

○ 富士山みがきあげ作戦活動状況

ふじさんネットワークの呼び掛けに応え、この活動の趣旨に賛同し、参加してくれる企業・団体等の協力のもと、平成14年12月から活動に取り組んでいます。

これまでに、次の10団体が活動に参加してくれました。

- ・ イオン(株)ジャスコ富士宮店
 - ・ キリンディスティラリー(株)御殿場工場
 - ・ 国産電機(株)
 - ・ 国立中央青年の家
 - ・ 東海ゴム(株)富士裾野工場
 - ・ 東京電力(株)沼津支店
 - ・ 天間製紙(株)
 - ・ 富士五十鈴(株)
 - ・ 富士山の自然を守る会
 - ・ 富士宮市観光ガイド
ボランティアの会
- (50音順)

富士山みがきあげ作戦の活動内容は、「ゴミの実態調査」と「活動場所からの富士山の撮影」です。

活動は、単なるゴミ拾いではなく、参加者が、ゴミの散乱状況を「調べ」、そこから、ゴミの発生原因を「考える」というもので、そこから、ゴミを捨てさせない方法を検討し、提案をしていきます。

活動地域は、富士山裾野の4市1町(富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町)内の富士山五合目以下の道路等を中心に、富士山を眺めることのできる地域で、参加者が自主的に決定します。

(会社の周辺などを活動地域とし参加していただいても結構です。)

私たちは、実践活動を通して富士山の環境をより良くしていくため、これからもこの活動に取り組んでいきます。



活動風景:天間製紙(株)

○ キリンディスティラリー(株)御殿場工場

当社は、10年程前より定期的に近くの国道138号線清掃活動を実施していますが、常に1000kg以上のゴミを回収しています。昨年より、富士山みがきあげ作戦に参加させていただいていますが、この活動はゴミを捨てさせないための活動であり、より多くの企業・団体の方に参加していただき、富士山麓のゴミが減り、各自治体・各団体の実施している清掃活動の必要のない環境になれば良いと思います。



○ 国立中央青年の家

青年の家から水ヶ塚駐車場までの県道沿いで3回の活動をしました。3回目には明治大学の学生も参加し、多くのことを考えたようです。毎回大量のゴミがあり、廃タイヤなども多数あり驚きの連続でした（特に目立たない藪の中に多い）。活動後しばらくして様子を見に行くとまたゴミがあり、やるせない思いでした。活動をより効果的にするために捨てさせない工夫をさらに考えたみがきあげ作戦にしたいものです。



○ 東京電力(株)沼津支店

当社は、企業目標の1つとして「環境の創造」を掲げ、地域の環境保全を推進していくことを目標に環境活動に取り組んでおり、沼津支店の取り組みの1つとして「富士山みがきあげ作戦」の趣旨に賛同し、平成14年度よりゴミの実態調査活動を実施しております。

富士山が日本一きれいな山となるよう、今後も調査結果を基に、ゴミを捨てさせない方法を積極的に検討・提案していきたいと思っております。



○富士山みがきあげ作戦への参加者や活動支援を募集しています。関心のある方は、ふじさんネットワーク事務局まで御連絡ください。

なお、富士山みがきあげ作戦の取り組み状況については、ふじさんネットワークホームページにも掲載しています。是非、ご覧ください。

※ヤフー等で「富士山」「ふじさん」で検索できます。

「富士山みがきあげ作戦」の参加・活動に関する問合せは

静岡県環境森林部環境政策室内「ふじさんネットワーク事務局」まで
 電話054-221-3776／ファックス054-221-3665
 e-mail 3776@fujisan-net.gr.jp



事務局通信

○新会員の紹介

10月～12月の間に7の団体・個人が加入しました。

富士讃会議(御殿場市)、富士登山競走連絡会(焼津市)ほか5個人。(入会順)

○ふじさんネットワーク活動報告

10月 富士山憲章シンポジウム「富士山環境行動への呼び掛け(案)」作成のためのワークショップへ多数の会員が参加(延べ6回開催)

11/4 富士山エコレンジャー意見交換会(沼津市)

11/6 富士山エコレンジャー意見交換会(富士市)

11/19～20 富士山憲章制定5周年記念フォーラム(富士宮市)

12/12 第3回企画部会(沼津市)

現在、富士山エコレンジャー活動や富士山みがきあげ作戦に取り組んでいます。

○マックスバリュ東海(株)から寄附をいただきました

マックスバリュ東海(株)本部及び全店舗で行った「富士山の環境保全活動募金」

(2003年7月1日～8月31日)で集まった募金(180,000円)を寄附していただきました。今後の富士山環境保全活動を一層推進するため活用します。ありがとうございました。

事務局からのお知らせ

富士山エコレンジャー研修会＝富士山勉強会＝

に参加しませんか？

○富士山エコレンジャー登録者、登録希望者、その他興味のある方ならどなたでも参加できます。

・第1回:1月24日(土)静岡県東部総合庁舎別棟会議室(沼津市高島本町)
JR沼津駅北口 徒歩10分
富士山の植物、蝶、洞窟に住む生き物などの講演

・第2回:2月14日(土)富士宮市内

・第3回:3月13日(土)御殿場市内

研修内容は、富士山の法律(自然公園法)、富士山の自然、文化、歴史、登山について等を予定。

○問い合わせ・参加申込みは、ふじさんネットワーク事務局まで。

■10月～11月にかけて、富士山憲章シンポジウムの原案作成や富士山エコレンジャーの意見交換会などで、ふじさんネットワークのメンバーの方々とお会いしました。

仕事を終えてから、駆けつけた後、遅くまで検討が続きました。皆さんの激論を聞きながら、富士山への思いを強く感じました。(お)



2004年1月 vol.13

編集・発行/ふじさんネットワーク事務局

静岡県環境森林部環境政策室富士山浜名湖スタッフ内

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号 TEL 054-221-3776 FAX 054-221-3665

e-mail 3776@fujisan-net.gr.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

・設立 平成11年10月23日

・会長 土隆一

(静岡大学名誉教授)

・会員数 302団体(H15.12.31現在)